

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトサンギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107500
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	国際キャリア開発リサーチB
	学部・研究科等名	国際関係学部
	担当教職員名・役職	横山 史生 教授(国際関係学部)
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	12
	受入企業等数	1
	受入企業等名	特定非営利活動法人パルシック(PARCIC)
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	3.海外でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	受入団体(国際協力NGO)の国際協力事業実施地の状況の調査・課題事例研究
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 3単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	「国際キャリア開発リサーチ」科目は、国際的な活動を行う公的機関・民間企業等と連携し、プロジェクト研究や問題解決型研究に取り組み、社会人に求められる自主性、問題解決能力、情報発信能力、他者との協働をするために必要な調整能力などの形成を図ることを目的とする。 「国際キャリア開発リサーチB」は、東南アジア地域における日本の国際協力現場を知り、地域が抱える社会的課題に取り組むインターンシップ型の実習プログラムである。現地コミュニティの課題をグローバルとローカルの文脈で理解し、その解決や新たな可能性に基づく展開を目指した取り組みを検討・提案する。活動を通じ、良きパートナーであるアジア諸国の人びとと共に、互いを知り合い、互いの課題に協働して取り組むことのできる人材を養成する。実習では、日本に拠点を置く国際協力NGOの国際協力事業地であるマレーシア・ペナン州の関係団体ならびにコミュニティと連携した実習を行う。現地の事業現場と連携団体(沿岸漁業者自助団体)の活動を知るとともに、現地コミュニティを訪問することにより、現地社会の背景と構造を深く知り、現代的課題を理解する。そのことから、未来に向けて互いに協働しあうための提案を検討する。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	学生に対して、海外での実習時・滞在時に必要なリスク管理ならびに実習時に必要とされるマナーの理解を促している	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	海外でのインターンシップ実施期間中に、学生が作成し受入団体担当者に提出する日報等を教員にもメール添付により送信することにより、教員が状況を把握	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	受入団体の事業内容等(海外事業地における現地関係諸団体の活動内容等を含む)に関する事前の調査・研究、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定、海外での実習時・滞在時に必要なリスク管理ならびに実習時に必要とされるマナーの理解の促進等を行っている	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターン実施期間中に作成した日報等を用いて現場での体験の振り返りを行ない、成果目標、特にキャリア形成への気付きと今後の目標等について、学生個々がレポートを作成するとともに、受入団体へのフィードバックを行っている。また、「国際キャリア開発リサーチ」の他科目と合同による学部内での成果報告会を行っている	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	海外でのインターンシップ実施期間中に学生が作成し受入団体担当者に提出する日報等を、教員にもメール添付により送信することにより、教員が状況を把握	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		インターン実施期間中に作成した日報等を用いて現場での体験の振り返りを行ない、成果目標、特にキャリア形成への気付きと今後の目標等について、学生個々がレポートを作成するとともに、受入団体へのフィードバックを行っている。また、「国際キャリア開発リサーチ」の他科目と合同による学部内での成果報告会を行っている	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	12日間(海外現地実習実施期間)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	海外現地実習実施期間に連続した12日間を当てている他、往復渡航に2日間、大学内での事前学習に一定期間内6日間、大学内での事後学習に一定期間内3日間を当てている)
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	大学と受入団体が協議を重ね実施プログラムの内容を設計し、決定内容について覚書を交わしている。大学内での6日間12回の事前学習のうち2回を、受入団体の職員が授業に参加する形で実施している。受入団体が、プログラム実施中に常にオンライン参加し、実習のファシリテーションおよび学び・成果の確認を行うとともに、団体の活動地の事情等を逐次解説し深い理解の醸成をし目標達成に導く支援を行っている。受入団体は学生が作成・提出する日報等をもとに参加度・達成度を評価し、実習の成績ならびにコメントを学生にフィードバックしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/2049.html">https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/2049.html</a> <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ir/outline.html">https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/ir/outline.html</a> <a href="https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023_lr/20231102_186_news.html">https://www.kyoto-su.ac.jp/news/2023_lr/20231102_186_news.html</a>
問い合わせ先	大学等名	京都産業大学
	担当部署名	国際関係学部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-705-3231
	メールアドレス	<a href="mailto:ir-jim@star.kyoto-su.ac.jp">ir-jim@star.kyoto-su.ac.jp</a>